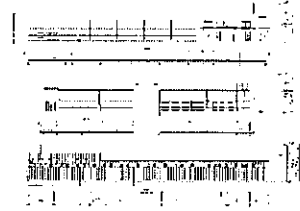


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) ケーズデンキ与謝野店	階数	地上1F
建設地	与謝郡与謝野町字石川小字あたご	構造	S造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	30人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,640時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年6月30日
敷地面積	7,911 m ² /	作成者	高島邦嘉
建築面積	3,213 m ² /	確認日	2018年6月30日
延床面積	3,139 m ² /	確認者	高島邦嘉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 50% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 78%</p> <p>③上記+②以外の 78%</p> <p>④上記+ 78%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.4</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 1.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>本物件は、亀岡市に計画される物販店舗である。節水器具や高効率機器の採用により、建物の使用エネルギー低減へ配慮した計画としている。</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>・冬の室温設定について配慮している。 ・全面的に規制対象外及びF☆☆☆☆の材料を使用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・空間の形状にゆとりを設け、自由さを確保している。 ・高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・周囲の街並みに調和させている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・高効率機器を採用し、敷地内のエネルギー使用量の削減に貢献している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・節水器具を採用している。 ・内装材にリサイクル資材を使用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・燃焼設備の採用を避け、大気汚染防止に配慮している。</p>
<p>その他</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される